



5 回裏、左前安打を放つ谷口選手（提供 朝日新聞社）



被災地の思いを胸に 夢の舞台へ挑む



# 感動と勇気を与えた古川工業高校



## interview

支えてくれた人と  
子どもたちに感謝

古川工業高校野球部

間橋 康生 監督

## interview

憧れの舞台で野球を  
楽しめたことが幸せ

古川工業高校野球部

今野 晴貴 主将



甲子園では1回戦で敗退しましたが、応援に来てくれた人や地元で応援してくれた人など、自分たちを支えてくれた人の力を試合中に強く感じました。本当に感謝しています。甲子園出場は、子どもたちの夢であり、私の夢でもありました。子どもたちには、「夢の舞台へ連れていってくれてありがとう」と伝えたいです。現在は、すでに新チームで動きだしています。また甲子園に戻ってこれるよう、一から選手を鍛えなおし、秋季大会で優勝できるように頑張ります。

独特な雰囲気の中、大観衆の前で戦う甲子園では、初回は自分たちの野球ができなかったのですが、回を重ねるごとに少しずつ冷静にプレイすることができました。結果を出すことができなかったのは残念ですが、憧れの舞台で、周りの支えや応援のおかげで、楽しく野球ができて幸せでした。自分たちの姿を見て、少しでも宮城県の人たちが元気を出してくれていたら嬉しいです。後輩には、私たち三年生が達成できなかった甲子園での初勝利を勝ち取ってほしいです。

悲願の夢舞台へ。八月八日、古川工業高校（以下、古工）が、ついに甲子園で試合をする日がやってきました。野球部員、生徒、保護者のほか、古工の勇姿をひと目見ようと、同校の卒業生や地元大崎市の人たちなど約二千人が、応援席のある一塁側アルプススタンドに駆けつけました。

初回、先発の山田投手が唐津商業高校（以下、唐津商）の先頭打者を三振に仕留め、順調な滑り出しかと思われましたが、ここから悪夢のような出来事が起こります。

緊張と被災地への思いなど、さまざまな重圧からいつもしどりの投球ができない山田投手に唐津商の打線が襲いかかりました。甲子園の独特な雰囲気にもまれ、守備の乱れも重なり、初回で七点、二回で二点を失い、九点を追う厳しい展開に。

それでも、応援席からの「ここからだ！」「まだいけるぞ！」という声援が甲子園に響くと、四回裏、今野主将の初安打をきっかけに打線がつながり、二点を返します。五回にも一点を返し、応援席の盛り上がりは最高潮に！

六回表には、中堅手の高橋選手、二塁手の平本選手が守備で好プレイを見せ、流れを引き寄せた直後の七回表にも一点を追加。甲子園で、大崎市で、宮城県すべてのまちで、みんなが古工の勝利を信じて応援していました。

必死にくりいつく古工は、八回、九回も全力を尽くしましたが、追撃もおよばず、残念ながら敗北を喫しました。

しかし、初回の失点が響き敗れたとはいえ、三回以降は互角の戦いを繰り広げた古工に、応援席からは「よくやった」「ありがとう」と、温かい声援が送られました。苦境に立たされてもあきらめず、被災地の代表として粘り強く戦った古工の姿は、震災から立ち上がる私たちの姿と重なり、勇気を与えてくれました。ありがとう古川工業高校！



①



②



③

## 甲子園の試合結果

| チーム         | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 計 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 唐津商業高校（佐賀県） | 7 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| 古川工業高校（宮城県） | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 |

①②甲子園では、野球部員、生徒、卒業生など、約2,000人が一丸となって応援しました③市民応援会場となったパレットおおさきでも、地域のスポーツ少年団の子どもたちなど約200人が集まり、大きな声援を送りました



いよいよ試合開始。ベンチから元気に飛び出す古川工業高校（提供 朝日新聞社）